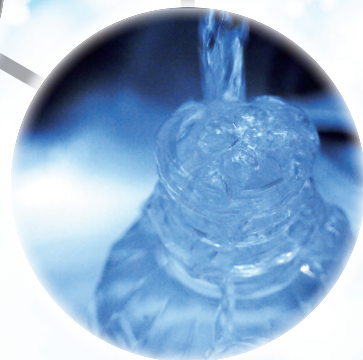


第2期

2020-2029

# 塩尻市水道ビジョン

自然と調和し、  
信頼と親しみのある水道を  
未来へつなぐ



塩尻市水道事業部



# はじめに

本市の水道事業は、大正15年（1926年）に創設認可を受けた大門水道をルーツとし、以来、本市の発展に伴う急激な水需要の増加に対応するために6回にわたる拡張事業を進め、市民生活や経済活動に欠かすことのできないライフラインとして、本年令和2年（2020年）に94年目を迎えました。

平成22年（2010年）5月に『塩尻市水道ビジョン』を策定し、水道事業の経営基盤強化、浄水場の更新、クリプトスポリジウム等への対策、水源の統廃合等の事業に取り組みました。また、平成29年（2017年）3月には楢川簡易水道を本市水道事業へ統合するための変更届出を行い、現在は一本化した水道事業を運営しています。

本市の水道事業を取り巻く環境は、前回ビジョンの策定時である10年前と比較して大きく変化しており、少子高齢化に伴う人口減少社会の到来による給水収益の減少、経年劣化による施設更新費用の増大、将来に向けた人材の育成等、事業を継続していくための課題が山積しています。さらに、平成23年（2011年）の東日本大震災や平成28年（2016年）の熊本地震、県内にも甚大な被害をもたらした令和元年（2019年）の台風19号等の自然災害に対する危機管理体制の強化も、早急に取り組むべき課題となっています。

このような状況を踏まえ、今後の水道事業のあるべき将来像と目標を設定し、その達成に向けた具体的施策を推進していくため、今回、新たに『第2期塩尻市水道ビジョン』を策定しました。今後は、このビジョンに基づく施策や取組を着実に実施することにより、安全でおいしい水道水を安定的に供給し、市民の皆様により一層満足いただけるサービスの提供に努めてまいります。

令和2年6月







**第1章 基本事項 1**

1.1 策定の趣旨	1
1.2 計画の位置付け	2
1.3 計画期間	3

**第2章 塩尻市水道事業の概要 4**

2.1 塩尻市の概要	4
2.1.1 沿革	4
2.1.2 地勢	4
2.1.3 気候	5
2.1.4 人口	6
2.1.5 土地利用	7
2.1.6 産業	7
2.1.7 交通	7
2.2 塩尻市水道事業の概要	8
2.2.1 沿革	8
2.2.2 現行事業計画	9
2.2.3 組織	10
2.2.4 施設の概要	11

**第3章 第1期塩尻市水道ビジョンの施策進捗状況 14**

3.1 塩尻市水道長期基本構想の概要	14
3.2 第1期ビジョンの施策と進捗状況	16

**第4章 将来の事業環境とそれを見据えた課題 20**

4.1 健全な事業経営の維持	20
4.2 災害に強い水道施設の構築	21
4.3 極端な気象条件に対しても安定した水道水の供給	22
4.4 将来を見据えた計画的な施設更新	24
4.5 人材育成による技術基盤の維持向上	26

**第5章 目指すべき方向 ～基本理念及び政策目標～ 27**

5.1 基本理念 ..... 27

5.2 政策目標 ..... 28

**第6章 施策及び実現方策 30**

施策1 水道水源の保全 ..... 31

施策2 水道水質の維持向上 ..... 34

施策3 施設の耐震化 ..... 38

施策4 危機管理体制の強化 ..... 43

施策5 水道システムの効率化 ..... 48

施策6 財政基盤の強化 ..... 52

施策7 技術基盤の強化 ..... 56

施策8 給水サービスの向上 ..... 58

施策9 環境に配慮した事業の推進 ..... 62

**第7章 財政収支の見通し 65**

7.1 投資計画 ..... 65

7.2 財政計画 ..... 66

**第8章 進捗管理とフォローアップ 68****第9章 おわりに 69****資料編**

資料1 塩尻市水道事業における業務指標(PI)の算定結果 ..... 74

資料2 用語解説(五十音順) ..... 79

資料3 第2期塩尻市水道ビジョン策定の経過 ..... 84